

核兵器の威嚇・使用を許さず、禁止・廃絶の世界に今こそ！

## 2022年国民平和大行進ニュース

No.7 2022年7月2日(土)

京都国民平和大行進実行委員会

Tel075-811-3203

Fax075-811-3213

# 行進終えて・・・核廃絶の決意と自信に

[東京→広島コース]二人の通し行進し者からのメッセージ

小林孝企さん（京都「被爆二世・三世の会」会員・宇治市在住）

2022年5月6日、東京・夢の島公園を出発し広島を目指し府県を引き継ぐ行進「原水爆禁止国民平和大行進」の「京都の通し行進者」として、6月21日に滋賀県から京都市山科のラクト公園で滋賀県から引継ぎ、26日に奈良市の般若寺で奈良県につなぐ行進に乾さんと参加させていただきました。

今年の行進は、①2月のプーチン・ロシアによるウクライナへの軍事侵攻「核による威嚇」、②「核兵器禁止条約」の第一回締約国会議のオーストラリア・ウィーンでの開催、③参議院選挙期間という中での行進。アピールも「ロシアはウクライナから撤退を！」「ロシアの核による威嚇は許せない！」「日本政府は核兵器禁止条約に参加！」「核兵器のない世界を！」・・・。



梅雨入り後であり準備はしていたが、行進の初日は雨の中での引継ぎ・行進であったが、100名を超える参加者と京都市役所まで行進、到着した京都市役所前では京都市職員の出迎えと激励のメッセージをいただき、歩くことには不安はなかったが無事に初日を終わり少し安堵。2日目は、午前に向日市スタートで長岡京市、大山崎町を地域の人と行進、各市町の幹部の歓迎と激励を。午後は、雨雲も切れ猛暑の八幡市内の行進となったが、お母さんと子供達で作った足形・手形の「だれのこどももころさせない」の横断幕には感動と元気をもらいました。3日目、4日目は、市町村への訪問・要請を地域の方と。それぞれ丁寧な対応をいただき、修学旅行での被爆地訪問や写真展の開催など具体的な取り組みを聞かせていただき、積み重ねた平和運動の歴史の一端も感じられた懇談時間でした。

最終日の26日は、精華町役場前で出発集会の後、地域の参加者と木津川市に向けて行進。木津川市役所南公園では多くの人のお出迎えで炎天下行進の疲れも取れ、行進者も70名に、引継ぎの奈良市の般若寺を目指して奈良坂越えのラストスパート、奈良県側の参加者の出迎えを受け、京都の実行委員長梶川憲さんと東京から引き継いだ横断幕を奈良県へ。行進参加者と各スポットでの集会参加者、通過市町村の激励も受け「核兵器のない世界を」の声を上げ無事に歩けたことに感謝するとともに、私の父親、終戦の年7月に招集され、8月9日原爆投下直後の長崎での被災者救援活動、生前に父から直接聞くことはできなかった語ることも辛い19才の体験、このような体験者をつくらないためにも、核兵器の廃絶、戦争反対の声を上げ続ける決意をあらたにする機会となりました。

乾 茂雄さん（井手町在住）

2022年国民平和大行進・京都府内の通し行進を終えて心地よい疲労感につつまれています。

退職後、人生の幕引きに向け、私自身にいくつかの宿題をかしました。

その内の一つが、今回の国民平和大行進の通し行進で、

今年74歳になります、私にとって、今度とか、また、次の機会なんて、もうないだろうという思いで参加させていただきました。

反戦、平和の声を全国から広島へ繋いでいくことに、わずかでも歩けたことに少しばかり誇らしく思いました。

ちなみに、これも宿題の一つ、詩を書いています、ひとつできました。（一部ですが）



石垣は 苔むして  
城跡は 藪の中  
釘（いくさ）で 築かれた城は  
釘（いくさ）で 壊された  
今はもう 石の塊だけが  
石垣は 苔むし  
石たちは 知っている  
釘（いくさ）の ない世は  
釘（いくさ）では つくれないことを。

「城跡」という作品が出来、これ、今の私の心境で、核兵器で平和は造れないという自信を深めました。

## 平和行進は綾部→亀岡コースへ



6月28日(火) 綾部市平和行進 40人参加



6月28日(火)福知山市大江町出発集会 12人参加



6月28日(火)福知山市夜久野町出発集会12人



6月29日(水)福知山市議会要請行動に10人



6月29日(水)福知山市街地平和行進に40人参加



6月29日(水)福知山市三和町 12人



6月30日(木)京丹波町瑞穂町スーパー前10人



6月30日(木)京丹波町 25人で平和行進



6月30日(木)夕暮れの南丹市美山町 25人